

環境県民フォーラムだよ!り

VOL. 35 2015年 3月 1日 発行

企業会員の取り組みご紹介

ならコープがすすめている、奈良県の環境保全活動に貢献する取り組み

ならコープは、環境対応への事業者責任を明確化し、1991年に「事業高の1000分の1を環境対応に活用」することを総代会で決議し、環境対応をすすめています。また1982年から始まった組合員とともにすすめるマイバック持参運動では、レジ袋を利用する際には1枚につき5円をご負担いただき、「環境資金」としてリサイクル活動や、県内で環境保全活動に取り組む団体に対しての助成金として活用しています。この運動により、マイバックの持参率は約95%と高い水準を維持しています。

2014年4月、奈良県エコキャラクター「な～らちゃん」の『米粉入り食パン』への使用承認を受け、『米粉入り食パン』1点利用につき1円を積み立て、奈良県環境県民フォーラムに寄附することで奈良県の環境保全活動に貢献する取り組みを新たに始めました。『米粉入り食パン』は、奈良県産ひのひかりを30%配合（粉配合比）しており、コンセプトは「米の原料産地、製造者、利用者も奈良県!」と地産地消にこだわった、ならコープ組合員自慢の食パンです。ならコープ全店と無店舗（トラックによる配達）にてご利用いただけます。



また、奈良県産「ひのひかり」を利用することで、1kgにつき1円をJAならけんとならコープで積み立て、「吉野の森と水を守る募金」とし、奈良県森林組合連合会を通して吉野川流域の植林も行っています。ならコープは『米粉入り食パン』を通じて、「な～らちゃん」と共に奈良県の環境保全活動に貢献する取り組みをすすめます。ならコープ組合員はもとより、県民のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。（ならコープ 吉田）

イオンリテール株式会社の買い物袋持参運動

フォーラム会員でもあるイオンリテール株式会社様から、この度奈良県環境県民フォーラムへレジ袋の収益金を寄附していただきました。イオンリテール株式会社様では、1991年から積極的に「買い物袋持参運動」を展開されています。この取り組みは、買い物客にマイバスケットやマイバッグを持参してもらい、レジ袋の使用量を削減することで、地球温暖化の原因となるCO2排出を抑えるとともに、ゴミの削減や原料の石油の節約を目指すものです。2013年度は約22億9,457万枚のレジ袋を削減され、レジ袋辞退率は67.8%となっています。2007年1月全国チェーンとして初めて、「レジ袋無料配布中止」を開始され、「レジ袋無料配布中止」実施店舗数は、22店舗（2008年2月度終了時点）から1,343店舗（2014年2月28日現在）に拡大しています。

また、イオンリテール株式会社様は各地域の自治体、市民団体、イオンの3者で協定を結ぶなど、地域の方とともに取り組みを進められています。

（フォーラム事務局）

今年度は上記の企業様からフォーラムへ寄附をしていただき、誠にありがとうございました。寄附金を有意義に使わせていただき、今後もフォーラムの活動の推進に邁進してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



エネルギー分科会

エネルギー講演会を実施しました

11月27日、御所市の中央公民館で省エネアドバイザーの西田三千男さんによるエネルギー講演会を実施しました。①家電をいたわって節電する「こつこつ省エネ」②省エネルギー家電に買い替える「ものぐさ省エネ」③自然のエネルギーを余すことなく使用する「創エネで省エネ」④防災と省エネをテーマに、西田さんの実践を紹介しながらのお話しは誠に分かりやすく、納得いたしました。また、手作りの発電・蓄電装置、ミニ太陽光発電や太陽熱で調理ができるソーラークッカーのご持参に、男性・女性の皆さんから質問攻めでした。「いつも考えているつもりでしたが、冷暖房の点灯ひとつにもつけ方があるなんて、勉強になりました。」と感動の参加者。のんびりとした環境の中、平穏な生活に浸っている私たち。今回の講演会は省エネに向き合う意識改革の絶好の機会となりました。
(御所市地婦連 土谷)



エネルギー講演会



エコクッキング教室

鍋帽子で手軽にエコ「エコクッキング教室」を開催しました

「エコクッキング教室」は、これまでに奈良、橿原、香芝、大和郡山の各市で開催し、10年目となる今回は1月15日生駒市南コミュニティセンターせせらぎで、22名の参加者を迎え実施しました。

エコ講座『家庭でできるCO2削減～ちょっとトクするエコの話～』では楠下さんがECO-net生駒の活動紹介をおして家庭でのエコの取り組みの大切さを話され、次に奈良友の会が食事作りの中でできる具体的なエコについて紹介しました。

料理実習では、旬のやまと野菜たっぷりの煮込み肉団子とのっぺい汁や、ご飯、タピオカぜんざいを鍋帽子を使って調理し、五色サラダを作りました。5分～10分沸騰させただけで鍋をコンロから下ろし、後は鍋帽子をかぶせて保温しながら煮込みます。保温力で調理ができ、大変おいしいことや、鍋帽子が省エネで手間いらずである利点も感じていただけ、毛布で代用できることを伝え、何人もの方が早速家庭で実践するとの感想に、保温料理の広がりを実感できました。

当日は、奈良テレビの取材がありその日の県政フラッシュで紹介され、取り組みを広く周知していただきました。本教室開催にあたり、ECO-net生駒の共催をいただき、エネルギー分科会、県事務局、生駒市役所など多数の方々にご協力いただきました。ありがとうございました。
(奈良友の会 藤原)

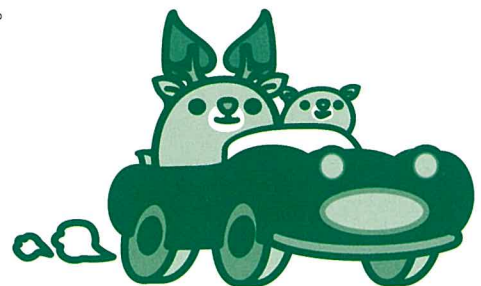
エコライフ分科会

昨年11月に「第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～」のイベントが県南部を流れる紀ノ川水系流域で開催されました。海のない奈良県がこの大会を開催することは意義のあることで、豊かな吉野の山地、森林に降った雨は、地下に浸透しその水が湧きだし川になります。川は海に流れ、豊かな海の幸を生み出します。川は、水は清澄で山からの恵みを海にもたらしています。

山間地の川だけでなく、大和川水系も2007年全国の河川汚染度のワースト1から脱却した年から年々県内の河川はきれいになってきています。河川流域の工場や企業からの排水の浄化や、下水道の敷設などが改善の要因ですが、まだまだ川は汚れています。エコライフ分科会はその主な原因と言われている家庭からの排水に注目し、川をきれいにするための小さな工夫を進めていこうと思っています。

川をきれいにする一工夫

- ・流しには水切りネットで食べ残しを流さない
 - ・食べ残しや油は古新聞紙などでふき取ってから
 - ・アクリルたわしを使って、洗剤の量を減らして
- 少しの工夫と習慣で、家庭排水の改善を・・・願っています。



資源活用分科会



「イオンモール大阪ドームシティ」「大阪市舞洲工場」見学



資源活用分科会では 11 月に、イオン初の防災対応型エコストア「イオンモール大阪ドームシティ」と、大阪市の粗大ごみ処理設備と大型焼却施設を兼ね備えた「舞洲工場」を学習、見学してきました。

「イオンモール大阪ドームシティ」は、大阪市西区岩崎地区スマートエネルギーネットワークに属し、京セラドーム

大阪、大阪ガス、病院等と一緒に“まちぐるみ”でエネルギーの融通や防災などに連携・協力して取り組んでいる、環境と防災に対応した新しい施設です。「舞洲工場」は 2001 年に建てられた、ウィーンの芸術家によるデザイン建物で、ごみ焼却場のマイナスイメージを払拭するためと地域のランドマークになるようにとの目的で目をひく外観にされたということでした。建物内も子どもたちの見学用に探検しているイメージで進めるようになどの工夫がこらされていました。また、敷地内の遊歩道は平日開放されているということでした。

このような、先進的な企業の取り組みと行政の現状を学び、奈良においても活用出来ることはないだろうかと考える機会になりました。
(市民生活協同組合ならコープ 高良)

自然環境分科会



田植え・稲刈り体験と棚田の自然学習会

11月3日、明日香村稲渕（いなふち）の棚田で、稲刈り自然体験教室が開催されました。実は、6月に田植え体験教室を開き、「自分で植えたものを、自分で刈りとる」というコンセプトの企画でした。もちろん稲刈りだけの参加もOK。楽しい稲刈りが終わると次は「はざ掛け」です。天日干しの為、刈りとった稲を「ウマ」と呼ばれる干し台に掛ける作業です。作業は午前中で完了、さあ昼食です。地元のお母さんに作っていただいた古代米カレー。午後は、棚田の自然学習会です。いのこづち、せんだん草などのひつつきむしの仲間の紹介があり、マジックテープ発明のヒントになったという興味深いお話でした。最後に嬉しい話をひとつ紹介します。田植え体験に参加した奈々子ちゃん、稲刈り日の直前にお父さんの東京転勤で参加できなくなりました。たいへん残念がっていたとお聞きしたので、奈々子ちゃんの田んぼで出来た稲穂を送ってあげました。毎日、机の所に飾った稲穂を見て「いつかまた奈良に帰った時に田んぼ作って、古代米のカレー作るねん・・・」とのことでした。

(明日香の未来を創る会 打越)



「橘街道」で「大和橘」の実が初めて収穫できました

平成 25 年 3 月に大和郡山市石川町で初めて地元の有志と上田清大和郡山市長が手植えをした大和橘が、昨年の夏にはたくさんの花をつけ、そして、暮れには約 5 k g の実を収穫することができました。山の辺の道周辺で進めている大和橘の栽培も、奈良県の協力によって、今春からは県有地での栽培面積が増えました。昔からミカンの産地として先人たちが苦労を重ねてきた山の辺の道周辺で、大和橘の一大栽培拠点として再生できるよう準備を進めています。菜の花プロジェクトとともに、山の辺の道周辺の歴史的な景観を保全することにも役立ってほしいと願っています。県内の神社や寺院での植樹の他、栽培協力者も増えて、県内各地での植樹も少しずつ広がっています。桜井市在住の薬膳料理研究家オオニシ恭子先生のご指導で、大和橘を使った薬膳料理への取り組みも始まっています。今年、オオニシ先生のご指導による商品化に向けた料理講座を計画しておりますので、薬膳料理や大和橘を使った商品化に関心をお持ちの方は事務局までお知らせください。そして、来年春には、いよいよ大和橘を使った商品の販売開始です。

なら橘プロジェクト推進協議会 連絡先 (090-4676-6463)



実をつけ収穫できた大和橘



大和橘を使った薬膳料理の料理講座

奈良市フィールド (大和の国・菜の花エコプロジェクト 事務局 NPO 法人宙塾)

E-mail: ohzorajuku@gmail.com Tel ; 0742-93-4788

菜の花と橘で結ぶ 記紀万葉の道めぐり



11月1日(土)、2日(日)に自然環境分科会「やまと菜の花ねっと」と奈良市地球温暖化対策地域協議会 (NEW) が共催して、下記のエコツアーを行いました。

1日目は薬師寺の伽藍めぐり及びお写経体験を行い、垂仁天皇陵を経て大極殿まで歩きました。その後の懇親会では環境文明 21、県内の各菜の花 P J 団体、NEW のメンバー約 30 名が集まり環境文明 21 加藤・藤村共同代表によるミニ講演や意見交換などを通して、大いに親交を深めました。

2日目は護国神社で宮司さんから「自然環境と神道」というテーマでお話をいただき、北永井 F で菜の花の苗を移植し、天理市景行天皇陵付近の山の辺の道を散策、菜の花や橘が植えてある場所を視察しました。最後は奈良町の中にあるレストランにて奈良佐保短期大学の島村准教授に同大学での菜の花 P J の取り組みについて説明していただきました。今後は外国人も含めた観光客も対象にできるエコツアーに育てていきたいです。

自分たちが育てた油が、大仏さまに!! 葛城産の菜種油を東大寺に奉納



葛城フィールドでは、NPO法人エコ葛城市民ネットワークのメンバーと葛城市環境課が協働で、市内の小学校に出前環境講座を行っています。そのひとつである葛城市立新庄小学校の4年生が、平成26年10月15日に自分たちの育てた菜種油を東大寺に奉納しました。子どもたちは、環境学習の一環として、3年生の秋に菜の花を植え付け、4年生の春に収穫・搾油を体験してきました。

今回奉納した菜種油は、大仏さまの中央の灯明で使用される予定です。子供たちは、菜種油が、昔から奈良にゆかりの深いものだということや食用以外にもいろいろな使い道があることを勉強しました。また、油は、スーパーで買うものと思っていた子どもたちは、自分たちが育てた菜種油が役立つことに喜びを感じていました。

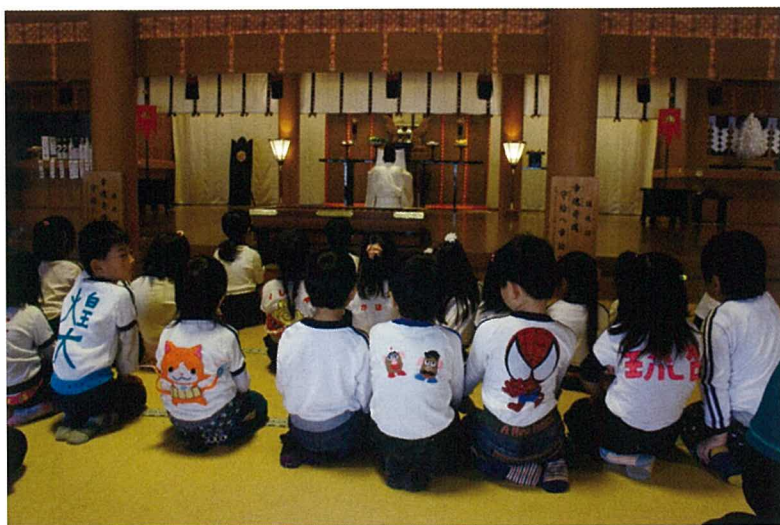


ESD(持続発展教育)

灯明油を大神神社に奉納

平成26年11月6日、桜井市立第一保育所の年長児36人が、近隣の農家の方々と一緒に育てた菜種油を「私たちが育てました。お灯明に使って下さい」と元気な声で神様にお供えました。

祈祷殿で神事が営まれ、貴重な体験をさせていただき、お正月には奉納した菜種油が灯明として使用されると聞き、子どもたちは大喜びでした。





平成27年度総会・交流会のお知らせ



日時：平成27年 4月21日（火） 午後

場所：奈良県文化会館 集会室A・B 会員の皆様には詳細は追って連絡いたします。

代表より メッセージ

最近地球温暖化の影響か、異常気象による集中豪雨や竜巻など気象の異変が多発して各地で多くの被害が出ています。この根本原因と言われている二酸化炭素の排出をできる限り早期に低減する必要がありますが、基本的には原油などの化石エネルギーの使用を極力低減し、太陽光や水力、バイオマスなど再生可能エネルギーの利用拡大を推進する必要があります。一方、技術開発面での事例としては車の世界では、燃費に優れた車の開発競争で最近売れ行きが好調です。ガソリン車からハイブリッド車へ、また電気自動車、更に燃料電池車に切り換えていけば、二酸化炭素排出量が劇的に低減されます。すでに燃料電池車も市販されています。また昨年には「LEDの開発と実用化」によりノーベル賞を受賞されましたが、照明の効率が格段に向上し急速に普及しています。更に家電や住宅の省エネルギー、創エネルギー型商品の選定、すなわち市民や事業者の選択（グリーン購入）次第で環境負荷は格段に低減することができます。

さて、昨年末には「持続可能な開発の為の教育（ESD）」の10年目を記念して愛知県と岡山県で国際会議が開催され、今後も継続的な活動を推進するよう国際的な合意がなされました。奈良県環境県民フォーラムの活動は奈良県環境総合計画の推進を図ることによって「持続可能な奈良」を創造しようとするものです。現在行っているフォーラムの様々な活動、CO2ダイエットを目指すエコな〜らライフ宣言やエコクッキング教室の開催、資源やエネルギーの最新システムの現地研修、菜の花や橘の栽培を通じた資源循環と景観保護、河川や里山の自然観察、様々な資源活用の推進など、どの活動も全てESD活動であり環境学習そのものです。

なお、4月21日（火）には平成27年度総会、交流会を開催予定ですので皆様のご参集をお願いいたします。

（代表委員 楠下）

募集中！！

エコな〜らライフ宣言



- ・CO2ダイエットに取り組んでいただける方からの宣言を募集中です！
- ・是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通り

1. チラシに記入してFAXで送信（0742-22-1668）
2. 環境情報サイトエコならの宣言 web サイトから宣言
（<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>）

賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業（省エネ、省資源研修、エコクッキング教室など）に優先的にご参加いただけます。

編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町 30 番地 県環境政策課内 TEL:0742-27-8732 E-mail:kankyo@office.pref.nara.lg.jp